

2010年度

科目名	演習 I -2		
担当教員	宇都宮 啓吾		
配当	日文3	コード	32100
開期	通年	講時	水曜日2限
		単位数	4
授業テーマ	『伊曾保物語』を手懸かりとした日本語の研究		
目的と概要	現在の我々が使っている日本語についても一度考え直すことを目指します。 我々がどのように言葉を使っているのか、自分なりに説明できるようになってください。		
成績評価法	発表内容(60%)や平常点(発表・ゼミへの取り組み方:40%)などを総合的に評価します。		
テキスト	特に指定しません。適宜、プリントを配布します。		
参考書	特に指定しません。適宜、紹介します。		
履修に 当たっての 注意・助言			
講義計画			
<p>キリシタン版と古活字版との文字化・注釈を行ない、その比較を通して、気になった問題点を解決、発表するという形式でゼミを進めます。          古典語研究の方向もよし、現代語語研究や方言研究の方向もよし、「言葉」に注目して、自分なりの思考を展開させて「語る」ことを目標として下さい。          1 回生の時の日本語講読では日本語表現について宇都宮の側から問題点を設定して皆さん方に考えてもらう形式でしたが、今度は自分で「ネタ」を見つけて語って下さい。</p> <p>導入                    1 オリエンテーション演習計画の説明・打合せ</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>事前指導①    2 国語学研究法①語彙 (気になる言葉)                            3 国語学研究法②語彙 (現代語)                            4 国語学研究法③語彙 (史的研究)                            5 国語学研究法④語彙 (史的研究)                            6 国語学研究法⑤方言 (方言語彙)</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>事前指導②    7 発表方法①演習のテーマ                            8 発表方法②論の展開・構成</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>演習                    9 具体的発表学生による個別発表</p> <p style="text-align: center;"> </p> <p style="text-align: center;">29 具体的発表学生による個別発表</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>まとめ                30 本演習の総括全体の纏めと卒業論文への発展</p>			